

今月のトピック

暖房機は換気が始まってから
終了しましょう！



春になると毎年病気が発生してしまう方は、保温を止めるタイミングが遅かったり、暖房機やダクトを早く片付けてしまっていたりという理由から、ハウス内の温度が高くなっている場合が多いです。これからの時期は、夜間の外気温もどんどん高くなっていきます。保温・加温は適切な手順で解除していきましょう。

病気の発生に注意！夜間の加温の止めどきは？

● 暖房機の止めどきは「換気が始まってから」！

外気温が高くなってくると、重油の節約のためについつい暖房機を停止したくなってしまいう方も多いかと思えます。春から夏への季節が切り替わる時期は、日ごとの格差が大きく、ハウスの換気が開く日もあればそうでない日もあります。早くから暖房機を止めてしまうと、外気温が低く換気がすべて閉じてしまった日にハウス内の湿度が高まってしまふことがあります。暖房機は毎日確実に換気するようになってから停止しましょう。

夜間の温度の条件	暖房機	保温カーテン (天井)	保温カーテン (内張り・ サイド)	換気 (天窓・谷)	換気 (サイド)
外気温 < 暖房設定温度 (外気と内気の温度差が大きい)	稼働	稼働	稼働	閉	閉
外気温 < 暖房設定温度 (外気と内気の温度差が小さい)	稼働	停止	稼働	閉	閉
	稼働	停止	停止	閉	閉
外気温 = 暖房設定温度	稼働	停止	停止	開	閉
外気温 > 暖房設定温度	停止	停止	停止	開	開

※上記は例です。保温資材の材質、換気量、ハウス内外の温度差等により手順は変化します。

春の温度管理には除湿もできる『だんぼう当盤』がおすすめ！



ハウス内の相対湿度は、暖房機を稼働させ温度を上げることで下げることができますが、植物への影響や暖房コストを考えると、常時高い温度設定にすることはできません。こんなときは湿度センサー付で効率よく除湿ができる「だんぼう当盤」をおすすめ！

だんぼう当盤は8段階の温度設定ができるほかに、センサーで湿度を計測しながら、除湿のために暖房機を稼働させることができます。必要なときだけ暖房機を稼働させるため、**コストを抑えながらハウス内を効率よく除湿することができます**。また、暖房機の送風を任意の時間に稼働させられるため、**ハウス内の温度ムラ・湿度ムラも軽減**できます。

